

全国の高校生を対象に秋田県内で行う合宿アイデアを募集します。

高校生クリエイティブキャンプ 2019

募集要項

【 対 象 】

○高等学校に所属する3名以上で構成された高校生グループ

※年齢を問わず、高等学校に所属している方は対象となります。

※高等学校は、定時制高校・高等専門学校・通信制高校・特別支援学校（高等部）なども含みます。

【 応 募 条 件 】

○秋田市内でおこなう7月26日の交流会プログラム、27日の発表会に参加できること

○引率者（計画を遂行し高校生の安全確保をおこなう監督責任を担える方）が同行できること

○合宿中の様子・報告資料をWeb、SNS上で公開することに同意すること

○高校の部活・研究会など、活動実績のあるグループであること

○グループは3名以上で構成されていること

○補助費を超える費用（旅費・食費・活動費など合宿にかかる費用）は各自団体に賄うこと

※但し、7月26日・27日の宿泊費及び場所は、事務局側で手配します。

【 審 査 基 準 】

クリエイティビティ：合宿の内容、やり方、活動そのものが類を見ない珍しい活動であるか

発信力：合宿内容が魅力的で、且つ全国に発信する表現力・発信力があるか

地域性：秋田を楽しんでいるか、魅力の掘り起こしがされているか

場所性：秋田県内で実施する意味や場所性があるか

実現性：応募グループの活動実績内容。また合宿プランが実現性のある内容になっているか

※合宿内容は、スキルアップ・研究・リサーチ・発表など形式は自由

【 留 意 事 項 】

○提出物の送付にかかる費用はすべて応募者でご負担ください。また送付時に破損などが発生しても主催者は一切の責任を負いません。

○提案内容に関する全ての知的財産権は応募者にあります。ただし、入賞・入選提案をホームページ、または主催者が発行する各種媒体で発表するほか、報道機関に対応しプレスリリースなどで情報を提供します。

○募集要項の掲載要項を諸事情により変更する場合があります。予めご了承ください。

【スケジュール】

一次審査 書類選考

[応募書類]

下記の応募書類を運営事務局までお送りください。

- 応募用紙 ※様式あり（公式 Web よりダウンロード）
- 企画書 ※様式自由（A4 サイズ 4 枚以内の書類もしくは 3 分以内の映像のいずれか）

[提出先]

NPO 法人アートセンターあきた
〒010-1632
秋田市新屋大川町 12-3 秋田公立美術大学 アトリエももさだ内
E-mail : info@u18cc.jp

▶▶▶ 審査結果は 6 月中旬に、公式 Web にて発表いたします。

応募締切

～5/24 (金)

※当日消印有効
※メール提出は 17:00 厳守

秋田で合宿を実施！
一次審査通過団体に

20 万円/団体
支給！

ホストアーティスト面談

一次審査を通過した 3 団体は、ホストアーティスト山城大督による個別
ブラッシュアップ面談を実施します。（テレビ会議で実施予定）
詳細に関しては参加団体が決定次第、運営事務局からご連絡いたします。

6 月中旬予定

秋田県内で合宿！！

合宿期間中に、各団体が設定した日程（秋田県内であれば日時・場所は
問わない）で合宿を実施していただきます。7 月 26・27 日に秋田市内
で行われる交流プログラム・発表会は全団体必ずご参加下さい。

7 月 26 日 (金) ホストアーティストによる交流プログラム (13:00～予定)

※この日は全員共通の宿舎に宿泊していただきます。

7 月 27 日 (土) 高校生プレゼンテーション・記者発表

秋田公立美術大学オープンキャンパス参加 (14:00～17:00 予定)

合宿期間

7/1 (月)
～8/18 (日)

※上記の期間で合宿日程を
設定してください

▶▶▶ 合宿終了後、プレゼンテーション資料を提出

●映像もしくはスライドショー (3 分以内)

- ・合宿の様子や成果をプレゼンテーション資料として提出してください。
- ・ご提出頂きましたプレゼンテーション資料は、公式 Web で公開します。

プレゼンテーション資料

提出締切

8/19 (月)

二次審査 グランプリ決定！

ご提出いただいたプレゼンテーション資料と Web、SNS での活動記録
を元に審査員がグランプリを決定いたします。

グランプリ

30 万円

【 審 査 員 】



芹沢高志
- Serizawa Takashi -
P3 art and environment
ディレクター

1951年東京都生まれ。生態学的地域計画の研究に従事したあと、1989年、P3 art and environment を設立。以後、現代美術、環境計画を中心に、数多くのプロジェクトを展開する。さいたまトリエンナーレ 2016 ディレクター。デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長。秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科客員教授。著書に『この惑星を遊動する』（岩波書店）、『月面からの眺め』（毎日新聞社）、『別府』（別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会）など。



高橋大輔
-Takahashi Daisuke-
探検家

©竹井俊晴

1966年秋田市生まれ。「物語を旅する」をテーマに世界各地に伝わる神話、伝説などの伝承地にフィクションとノン・フィクションの接点を求めて旅を重ねる。2005年ナショナルジオグラフィック協会（米国）から支援を受けた国際探検隊を率い、実在したロビンソン・クルーソーの住居跡を発見。著書に『ロビンソン・クルーソーを探して』（新潮社）『浦島太郎はどこへ行ったのか』（新潮社）など。「クレイジージャーニー」（TBS）「無人島0円生活」（テレビ朝日）「劔岳の謎に挑む」（NHK）などTV出演も多数。



高嶺格
-Takamine Tadasu-
美術家
秋田公立美術大学 教授

1968年鹿児島県生まれ。1993年から4年間にわたって「ダムタイプ」のパフォーマーとして活動。身体障害者とのコミュニケーションと性を題材とした映像作品《木村さん》（1998）、自身の恋人との関係を起点に、在日韓国人をめぐる差別的な感情の問題にふれた《在日の恋人》（2003）など、現代社会に潜む諸問題をテーマとしたパフォーマンス、映像、インスタレーションなどの多様な表現を展開している。美術作品の傍ら、舞台作品や舞台のコラボレーションも数多く手掛ける。



山城大督
-Yamashiro Daisuke-
美術家／映像作家

©Nobutada OMOTE

1983年大阪府生まれ。映像の時間概念を空間やプロジェクトへ応用し、その場でしか体験できない《時間》を作品として展開する。2006年よりアーティスト・コレクティブ「Nadegata Instant Party」を結成し、市民参加型プロジェクトを全国各地の美術館、芸術祭で発表。インスタレーション作品《VIDERE DECK / イデア・デッキ》が第18回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。主な展覧会に森美術館「六本木クロッシング2016展：僕の身体、あなたの声」。京都造形芸術大学客員教授。

2019年度、ホストアーティスト！！

【運営事務局・お問い合わせ】

NPO 法人アーツセンターあきた （担当：岩根・齊藤）

〒010-1632 秋田市新屋大川町 12-3 秋田公立美術大学 アトリエももさだ内

TEL：018-888-8137 FAX：018-888-8147 E-mail：info@u18cc.jp

主催：秋田公立美術大学 / NPO 法人アーツセンターあきた

協賛：東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社

後援：文部科学省 / 秋田県 / 秋田県教育委員会 / 秋田市 / 秋田市教育委員会